

4 呼吸器内科

基本研修（2ヵ月）

（1）一般目標

呼吸器疾患のなかで、発症頻度の高い疾患群についての的確な検査や診断ができるようになるために必要な知識、技術を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

- ①呼吸器系の形態や機能について理解し、説明することができる。
- ②呼吸器疾患患者の病歴聴取・診察を正しく行うことができる。
- ③胸部X線・CTの画像診断ができる。
- ④動脈血ガス分析・肺機能検査について内容を把握し、説明することができる。
- ⑤肺炎・肺結核などの呼吸器感染症の病原診断及び適切な抗菌薬選択ができる。
- ⑥肺癌の病期診断及び適切な治療方法の選択を行うことができる。
- ⑦COPD・間質性肺炎・肉芽腫性肺疾患など慢性疾患の診断と治療ができる。

2）治療の実践

- ①定められた上限の患者数に達するまでは、原則新規入院患者の担当医となり、診療を行う。
- ②期間中におこなわれる気管支鏡検査についてはすべて加わり、手技・検査方法につき学ぶ。
- ③毎週金曜日の総回診時には受け持ち患者のプレゼンテーションを行い、治療指針等検討する。
- ④胸部レントゲンの読影を毎日行う。

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

呼吸器疾患について広く全般的に理解し、的確な検査、診断、治療及び手技ができるようになるため、必要な知識や技術を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の向上

- ①呼吸器系疾患の画像診断が的確に行える。
- ②気管支鏡検査を安全に施行することができる。
- ③胸腔穿刺・胸腔ドレナージを安全に施行することができる。
- ④人工呼吸管理（非侵襲的を含む）を適切に行える。
- ⑤肺炎・気管支喘息など急性期の疾患管理ができる。
- ⑥肺癌に対し緩和ケアを含めた総合的治療および対症療法ができる。
- ⑦急性増悪を有する疾患・病態の管理ができる。
- ⑧気管切開や輪状甲状靭帯の穿刺について必要性を判断し、適応を決定できる。
- ⑨必要に応じて中心静脈穿刺を決定し、実施できる。

2）治療の実践

- ①新規入院患者の担当医になり、指導医または上級医の指導のもと診療を行う。
- ②気管支鏡検査に加わり、指導医または上級医の指導のもとに行う。
- ③毎週金曜日の総回診時は受け持ち患者のプレゼンテーションを行い、治療指針等検討

する。

④胸部レントゲンの読影を毎日行う。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟回診 (外来見学)	キャンサーホート 病棟回診	病棟回診	病棟回診 (外来見学)	病棟回診 救急外来
午後	病棟回診 症例検討	気管支鏡 検査	病棟回診	病棟回診	総回診 症例検討会

第 2 火曜日、第 4 金曜日の午前 8 時からの外科との合同カンファレンスに参加
毎週月曜日午後 5 時からの新患カンファレンス及び症例検討会に参加